



(本 社) 甲府市増坪町74	TEL055-241-3151 FAX055-241-8530
(営業所) 上野原市新田661	TEL0554-62-3321 FAX0554-62-3322

清秋の候、貴社におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。秋気肌に染む時節、風邪など召されませぬようご自愛ください。今回は5Gについて皆様にお伝えしたいと思っております。目を通していただくと幸いです。
(加工部 小林)

<編集者>
塚原 佳由
望月 博隆
小林 龍也
村松 貴
赤木 健三
山田 幸平

鋼種 Q & A ~5Gについて~

5G (5th Generation)とは第5世代移動通信システムのことを表します。現在の主流である4G (4th Generation 4世代移動通信システム)の次世代の規格として登場しました。

5Gの特長・・・ 5Gには主に次の3つの特長があります。①高速・大容量 ②超高信頼・低遅延 ③多数同時接続

5Gと4Gの違い・・・ 5Gは4Gよりも通信技術が飛躍的に進化しています。5Gの通信速度は4Gの20倍、遅延は4Gの1/10で4Gの10倍のデバイスを同時接続できるとされています。それによりモバイル端末だけでなく、あらゆる機器からストレスなくネットワークを使えるようになります。



5Gが製造業にもたらすメリット

大容量データを簡単に処理できる・・・例えば保管してある在庫の量、内容、位置を詳細に把握でき在庫管理が効率化できます。加えてデータの処理能力が上がるため高精細な画像処理を通し不良品の検出がより正確に行えるようになります。

リアルタイムに遠隔地との情報共有ができる・・・高精細な画像・動画の送受信も簡易に行えるため遠隔地との情報共有をリアルタイムで行えます。別工場にいる熟練技能者が材料の細かな仕上げ作業を動画で確認し、指導するというのも実現するため距離や時間に関係なく作業支援を行うことができ工場の省人化につながります。また別の場所をリアルタイムで確認できる安全性を考慮して遠隔でロボットを操作できるといった点も5Gの恩恵のひとつと言えるでしょう。

多くの機械を同時接続できる・・・5Gは1km²で100万台の同時接続を実現できます。この特性を活かせば工場のさまざまな機械装置を1つのネットワークで動かせるようになります。

産業分野での普及は2022年以降に本格化するのではないかと推測されます。さらに導入のための設備投資に多大なコストがかかるため、中小企業での5G導入は容易ではありません。低コストで簡易な5Gソリューションの実現が期待されます。



★社長のワンポイント★ 10月に入りやはりコロナウイルスの影響が少し緩和されつつ用心しなくてはなりません。次の波の予想が、医学界から出ております。爆発的感染・・・観光立国でもある山梨県にとって更に厳しい環境にならないように願っております。前回も述べましたが、何をやっても未知なウイルスは変異に変異を重ねて人類に戦いを迫ってくる。これは自然の摂理の事であって、ウイルスの発症は別として、生き物との戦いは人類の永遠の戦いである・・・そう思って医学の領域では様々手を尽くしておりますが、ここまで経済という物が崩壊に近いと言うことの、罪意識が先に・・・もし仮にここで、富士山爆発、東海沖地震が重なったという想定であるかと考えると、不安が増します。人類の英知など自然には到底かなわないと諦めも付きますね。さて、余計な話でしたが、半導体市場がウネリを上げて製造業上昇気流に乗っています。このウネリをどうにか自分のところに引き寄せたいと、皆さん必死に仕事を獲ろうと実践行動されています。しかし、様々制約条件が重なり、最終的にはコロナで海外市場に打って出ることができない・・・市場拡大狙っていても外とのコミュニケーションが取れずにいるのが現実。大きな手を打つと言うことの難儀な事。また難儀事をクリアしようともがいても、経営者の決心がどこまで本気なのかと言う部分で、市場戦略が違う方向に流れて、風を受けることができない・・・瞬間の風を逃がさないようにしていくことが、withコロナの必勝方法だと感じております。瞬間の風・・・裏面に皆さんに詳しくお伝えできれば良いと思っております。

★国中エリア 塚原★9月の国中動向ですが、半導体関係の動きが8月末日頃から一段と忙しくなっているようです。年内だけに留まらず来年のシフトを調整し始めている企業も出てきています。3年先まで忙しく動いていくとの話も聞きますが、半導体の仕事は突然STOPする場合がありますので動向をしっかり見ていきたいと思っております。車、トラック関係では大規模な減産となった半導体チップの供給不足が依然として続いており、年内いっぱい現状維持していくものと言われております。景気の動向も気になりますが、自民党新総裁になった岸田総理の今後の動きにも着目していきたいと思っております。

★郡内エリア 望月★9月の郡内エリアの動向ですが、半導体関係では、10月の仕事量は多くきているようです。機械の種類で仕事がきていないお客様もあるので一概に全部とは言えないようです。工作機械関係では、受注はきているものの、制御電気部品が不足し、組立ができないそうです。そのことで製造調整が発生し、減産が起きています。トラック関係でも、その影響なのか？生産調整が起きて仕事量が減ってきています。8月は長期連休の影響と報告いたしました。すでに8月から制御電気部品の不足が起きていました。そのことで機械注文がきているのに組立ができないため、製造中止を与儀なくされており、9月では明確に出してきました。そのことで部品製造に大きく影響が出ています。10月はさらにその影響が出てくるお話を多く聞いています。今後の状況に注意していきたいと思っております。

★上野原エリア 山田★動向ですが、半導体関係が8月末辺りから多少減少傾向になっていたのですが、9月の中旬頃から稼働が戻りだし、忙しく稼働されているお客様が多くなってきました。計画への遅れが出ているものの、10月中旬には予定通りになりそうだのお話を伺いました。エコカーや、トラックなどは半導体部品の不足により、減産や計画の見直しなどが非常に多くなってきております。また、自動車産業に関わる機械関係のお客様では、11月頃まで仕事が少ない状況が続くとのお話が出ています。自動車関係が設備投資を行わないことで受注が減っているためです。東京、神奈川方面でも半導体関係の好調が続いています。10月から緊急事態宣言が解除になるため、今まで先送りになっていたような仕事動き出してくるの注視していきたいと思っております。

今回お伝えする内容ですが当社として「あらたな始まり」の話になります。故峰岸悦郎が創業したこの峰岸商会であります。昭和42年以来、地域に愛され安定成長させていただき様々な激動の動きでございましたが、どうかこうにかやってこられました。これも長年御客様から当社に対して叱咤激励いただき成長できたからこそだと思っております。この場をかりて心より御礼申し上げます。今何をやらなければならないか、多角的経営判断を実行に移すために、良き御縁があれば業務提携をしたいと考えておりました。その結果、長野県千曲市にございます、株式会社ユニオンプレートの代表取締役社長でもある、鮎澤直樹社長と御縁がありました。鮎澤社長と協議を重ねた結果、お互いの強みを活かしグループ会社として一緒に仕事をしたいという話になり、お互いの創業者の御縁もあり、令和3年9月6日午後2時をもって資本業務提携する事になりました。これは当社にとっても願ってもない話であり、時代に合わせた事と認識しつつ、しなやかな変化と会社の発展と仕事の効率化が見込めるようになると確信しております。

今後皆様により多くの材料は勿論、更に付加価値のある製品をご提案させていただければと思っております。社員共々今後ともどうぞよろしくお願い致します。

新たな組織で55年更に60年70年と進んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。